

2. 仕事を創出して収入を生み出す“Cash for Work”

女性たちが手先の器用さ等を生かし、手仕事で製品を作り、販売し、その売上げの一部を収入として得る様々な活動が始まりました。

○漁網で編んだ「ミサंगा」をインターネット・店頭で販売

岩手県、宮城県の被災沿岸部の女性たちが、使い慣れた漁網でミサंगा（組み紐のお守り、アクセサリー）を制作して販売しています。

販売代金のうち、材料費や販売諸経費を除いた代金が作り手の収入となり、被災地の女性たちの仕事づくり、新しいビジネスの発展にも貢献しています。



○その他の手仕事品の生産・販売

クリスマス・オーナメントの制作や刺し子（布を重ねて模様を刺し縫いする伝統的手芸）など、被災地の女性たちが手仕事品を生産・販売し、収入を得ることで、仕事を失った方々の仕事を創出するだけでなく、やりがい・生きがいがいづくりにつながっています。

3. 仮設住宅等で暮らす被災者の支援と地域コミュニティ再構築につながる雇用創出

国（厚生労働省）の緊急雇用創出事業等を活用し、仮設住宅等で暮らす被災者を支援するため、被災者を雇用する取組もあります。また、このような取組が、仮設住宅で暮らす被災者のひきこもりや孤独死の防止、地域コミュニティの再構築につながっています。

○「デリバリーケアプロジェクト事業」

特定非営利活動法人参画プランニング・いわては、盛岡市から委託され、買い物代行事業を行っています。本事業は、被災者を雇用し、岩手県野田村、宮古市、大槌町の3か所で、仮設住宅等で暮らす高齢者等のために、日用品、食料品、雑貨等の買い物を代行するもので、買い物した商品を必ず手渡しすることで被災者の安否や健康状態を確認し、悩み相談等にも応じています。（代行料は1回につき100円）



○「安心見守り協働事業」

一般社団法人パーソナルサポートセンターでは、仙台市から委託され、「安心見守り協働事業」を行っています。本事業では、「絆支援員」として被災者を雇用し、プレハブ仮設住宅や仮設住宅として借上げた公務員宿舎などを訪問し、入居者の話し相手となり、様々な相談に応じています。絆支援員が受けた医療や就労などの相談は、同センターのスタッフを通じ、専門機関につないでいます。

